

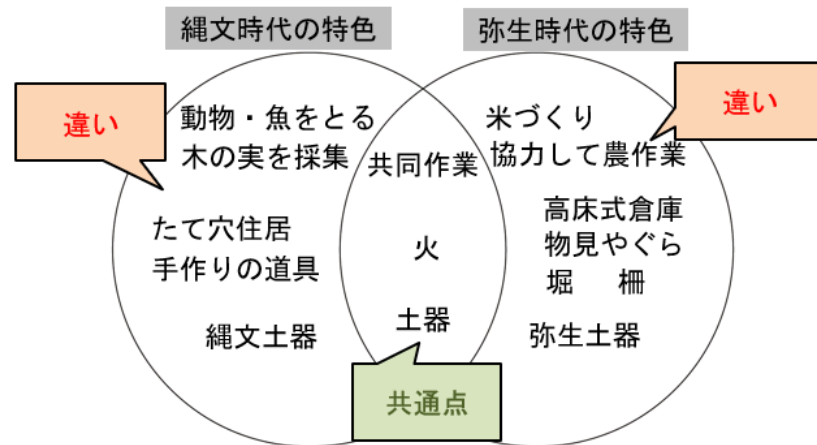
<アイデア>

第6学年「B(1)ア(イ)」(古代までの日本)

絵図から目的に応じて情報を読み取る技能を活用して、縄文時代と弥生時代のくらしの違いを考察し表現するために、ベン図を使用するアイデア

【学習問題】

縄文時代と弥生時代の人々のくらしの様子には、どのような違いがあるでしょうか。



※本アイデアは、単元評価問題を基に、再構成したものです。

本単元に関する学習指導要領の内容

第6学年「B(1)ア(イ)」(古代までの日本)

B(1) 古代までの日本

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 日本列島における国家形成

日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(イ) 古代までの日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現すること。

＜本アイデアのポイント＞

- ・ベン図は、主に複数の事象の共通点と相違点を明らかにしたいときに使う思考ツールの一つです。縄文時代と弥生時代の特色を明らかにするために、二つの時代のくらしの様子の「違い」に着目して、まとめることを促します。

2枚の絵図から読み取れることをベン図に整理し、情報を視覚的に捉えやすくすることで、文章化を苦手とする児童にとっても、まとめやすくなりますね。



【展開例】

- ①学習問題をつかむ。
- ②ベン図に整理し、違いと共通点を読み取る。
- ③二つの時代の違いについて、話し合う。
- ④個人で考えを再構成し、まとめる。

展開① 学習問題をつかむ。

【学習問題】

縄文時代と弥生時代の人々のくらしの様子には、どのような違いがあるでしょうか。

資料 1

縄文時代のくらしの様子
(想像図)

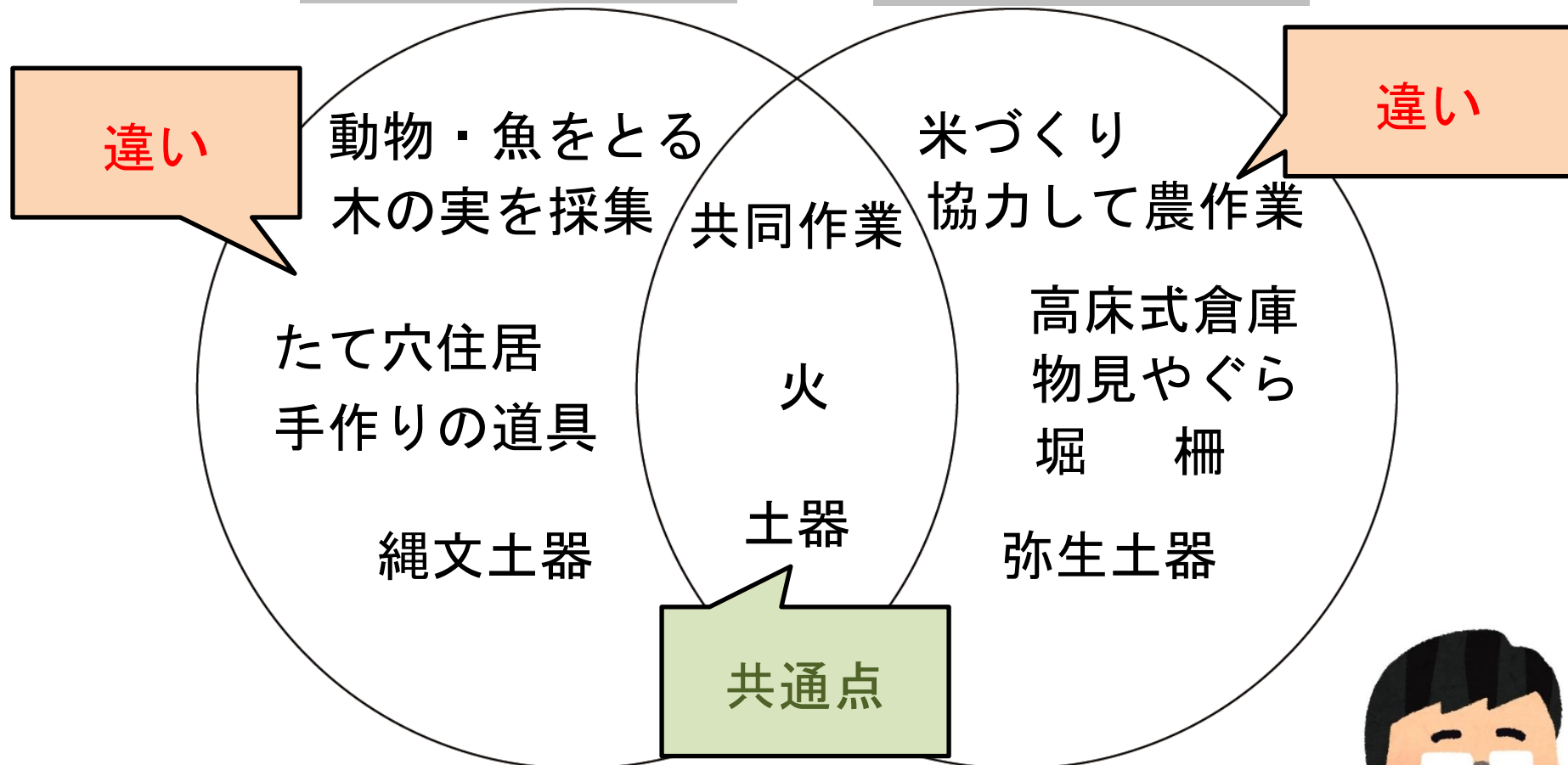
資料 2

弥生時代のくらしの様子
(想像図)

展開② ベン図に整理し，違いと共通点を読み取る。

縄文時代の特色

弥生時代の特色



ベン図にまとめると，二つの時代の**違い**と**共通点**が見える化できますね。



展開③ 二つの時代の違いについて，話し合う。



共通点としては，共同作業をしていたことや，火や土器を活用していたことは，あげられますね。それでは，違いはどのようにまとめられるか考えていきましょう。



縄文時代には，動物や魚，木の実などを採って食べて生活していたので，生活が安定しなかったんじゃないかな。

弥生時代になってから始まった米づくりによって，建物やむら全体のつくりが大きく変わっているように思えます。



展開④ 考えを再構成し，文章でまとめる。

学級で出し合ったことを基に，まとめてみると，どうなるかな。まずは，まとめに使うキーワードを書き出してみましよう。



キーワード（例）

たて穴住居，採集，縄文土器，米づくり，高床倉庫，争い

【まとめ】（例）

縄文時代は，人々がたて穴住居に住み，動物や魚などをとったり，木の実などを採集したりしています。また，縄文土器など，手作りの道具を作って活用しています。

弥生時代は，米づくりが始まり，収穫した米は高床倉庫などに蓄えています。また，むらの周りに堀や柵，物見やぐらなどを建てて，争いに備えています。